

競 技 注 意 事 項

1 競技について

- (1) 本競技会は 2024 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び競技会における広告および展示物規程、本競技会要項並びに競技注意事項によって行う。
- (2) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。但し、投てき用具、棒高跳用ポールについては各自持参のものを、検定を受け使用することができる。(検定はダッグアウト市陸協事務室前でを行う。)
- (3) アスリートビブスは胸部と背部につけること。但し、跳躍競技の競技者は背または胸だけでよい。
- (4) すべてのトラック種目は予選から写真判定を行う。腰ナンバー標識の 1~8 番までは、中高校生は各学校で準備する。その他の競技者には主催者から配付する。1500m, 3000m 競技は、招集場所で配付する腰ナンバー標識を使用する。5000m 競技は招集場所で主催者が配付する通しアスリートビブスと腰ナンバー標識を使用する。
但し、リレー競技においては第 4 走者のみでよい。腰ナンバー標識は右腰やや後方につける。
- (5) 高校・一般男子 5000m、高校・一般女子 3000m、中学男子 3000m、中学生 800m はグループスタートで行う。
- (6) トラック競技予選及び 800m、1500m、3000m、5000m 決勝はタイムレースで行う。
予選で同記録者が 8 名を超えた場合には、1000 分 1 秒で記録された実時間を考慮し判定して進出者を決める。それでも決められない時は抽選を行う。
- (7) リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙に必要な事項を記入し、招集完了時刻の 1 時間前までに競技者係に 1 部提出する。ユニフォームは、同一のものを着用する。
なお、オーダー用紙にはリレー種目以外からの競技者については出場種目を記入する。
リレー競技のマーカーの使用は 1 か所とする。また、マーカーは各チームで用意し、使用後はそのチームで処理する。
- (8) 投てき競技と走幅跳については、トップ 8 を決めてさらに 3 回の試技を行う。
- (9) 棒高跳の支柱移動申請用紙はピットに用意する。記入後はピットの担当者に提出すること。
- (10) 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果がアナウンスで正式発表されてから、競技規則 TR8 に定められた時間内に、その競技者または担当総務員を通して、審判長に対して口頭で抗議を行う。さらに、審判長の裁定に不服の場合は、預託金(1 万円)を添えて、担当総務員を通して Jury に文書で申し出る。

2 招集について

- (1) 招集場所は本競技場 100m フィニッシュ近くのゲートに設ける。
- (2) 競技者は招集開始に遅れることのないように注意し、招集場所で競技者係から点呼を受けること。(招集開始、完了時刻はプログラムに記載の通りである) その際、係員によるアスリートビブス、スパイク及びシャツ、バッグ等の商標のチェックも受けること。なお、携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は競技場内へは持ち込めない。
- (3) 招集は本人が行う。但し、他の種目に出場している場合のみ代理を認める。
- (4) 他種目と兼ねて同時に競技する者は、競技者係及びその種目の審判員に申し出て、競技に支障のないようにする。
- (5) 競技用シューズについて競技者が使用することシューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)については WA テクニカルルール TR5 を適用する。

※詳細は日本陸連 HP 参照(<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technicai/>)

種 目	フィールド種目 (徐：三段跳)	三段跳	トラック種目 (800m 未満の種目、ハードル種目含む)	トラック競技 (800m 以上の種目、障害物競走含む)
	2 0 mm	2 5 mm	2 0 mm	2 5 mm

3 練習場所について

- (1) 練習はサブグラウンドが液状化のため利用できないため、サブグラウンド側駐車場及び雨覆練習場を使用する。但し、使用できる範囲が狭いためケガのないよう注意して利用ください。正面駐車場での練習することは禁止する。
- (2) 投てき競技の練習は競技場内で審判員の指示により行う。
- (3) 事故防止には十分留意すること。

4 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。なお、当日の状況により変更もありうる。

走高跳	中学	男子	1m35 (練習)	1m40-1m45-1m50-1m55-1m60-1m65	(以後 3cm 上げ)
		女子	1m15 (練習)	1m20-1m25-1m30-1m35-1m40	(以後 3cm 上げ)
	高校・一般	男子	1m60 (練習)	1m65-1m70-1m75-1m80-1m85-1m90	(以後 3cm 上げ)
		女子	1m30 (練習)	1m35-1m40-1m45-1m50	(以後 3cm 上げ)
棒高跳	中学	男子	2m00 (練習)	2m10-2m20-2m30-2m40-2m50-2m60	(以後 5cm 上げ)
		女子	1m80 (練習)	1m90-2m00-2m10-2m20-2m30-2m40	(以後 5cm 上げ)
	高校・一般	男子	3m00 3m60 4m20 (練習)	3m30-3m40-3m50-3m60	(以後 5cm 上げ)
		女子	2m30 (練習)	2m40-2m50-2m60-2m70-2m80-2m90	(以後 5cm 上げ)

- (1) 走高跳、棒高跳で最後の一人になり優勝者が決まるまで上記のバーの上げ方とする。
- (2) 第1位が同記録の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

5 計測記録について

○走幅跳には計測ラインを設ける。

中学男子	4 m 3 0	中学女子	3 m 3 0
高校・一般男子	5 m 5 0	高校・一般女子	4 m 3 0

6 表彰について

- (1) 各種別各種目の男女の部でそれぞれ 8 位までに入賞した競技者に賞状を授与する。
- (2) 各種目の 8 位までの入賞者は、結果発表後ただちに入賞者席に移動して表彰を受けること。
- (3) 中学生男女各 1 名、高校生男女各 1 名、一般男女各 1 名の合計 6 名に最優秀選手賞を授与する。
- (4) 希望者には申し出により記録証を発行する。(1部200円)

7 競技者の移動、応援ならびにテントの設営について

- (1) 役員・係以外の本部席前の通行を禁止する。
- (2) 競技場内への移動は係の指示に従うこと。その場合、フィニッシュライン地点と 100m スタート地点のゲートを使用し、他の出入口は一切使用しない。
- (3) その競技を行う競技者以外は競技場内に立ち入ってはならない。
- (4) 競技運営に支障のあるような応援はしないこと。
- (5) テントの設営は、正面スタンド(高校・大学・一般)は中段より上とする。中学校のテント設営はサイドスタンドとバックスタンドとする。
- (6) 前日の場所取りはできない。当日は 6 時 15 分に中央入口で各チーム代表者(場所取り)に開放し、その後の入場者は 100m スタート脇、フィニッシュ脇の 2 カ所からの入場とする。
- (7) 一般観戦者にはメインスタンドのみ開放する。

8 救護について

競技中に発生した傷害事故等に対しては、主催者は応急処置を行うが、それ以外の責任は一切負わない。なお、大会当日の傷害については、主催者側が加入する「傷害保険」が適用される。

9 その他

- (1) ごみは各自での持ち帰りをお願いします。
- (2) 特に最近盗難事故が多発しています。貴重品の管理は、各自で責任を持って行ってください。

新潟市陸上競技選手権大会参加校へのお願い

受付について

学校 6 : 30～ 一般競技者・役員受付 7:00～

- 競技役員受付・一般競技者受付・学校受付は正面玄関で行います。
- 一般競技者（大学生を含む）の受付は正面玄関で行います。
- プログラムはありません。スタートリストの掲示は正面玄関入口脇に掲示します。必要な場合は各校アスリートランキングからプリントアウトしてください。

開場とスタンド割り

- 開場は6 : 30 です。（市陸上競技場駐車場は6 : 00 営業開始）
- 入場場所は、100mスタート脇のトイレ・水飲み場の入口（スロープ下）と 100mフィニッシュ脇の
トイレ・水飲み場の入口（スロープ下）の2カ所となります。
競技場の建物に沿って、ある程度の間隔を開けて並んでください。競技場建物沿いの駐車スペースは、参加者の入場が終わるまで車を止めないでください。
- 場所取りは、各校1名とさせていただきます。
- 正面スタンドは、一般・高校のスペースとします。中学生はサイドスタンド～バックスタンドへお願いします。
- サイドスタンド、バックスタンドへの出入りは、聖火台両サイドからとなります。スタンド前部の手すりの部分からの出入りはしないでください。テント・シート等の各校の荷物などは手すり部分での受け渡しは可能です。
- 入場後の交差を避けるため、市役所側のサイドスタンド～バックスタンドは、100mスタート側から入口から入場し、サブトラック側のサイドスタンド～バックスタンドは、フィニッシュ側入口から入場してください。
- 場所取り生徒以外の選手は、およそ10分後に入場を開始します。

その他

- サイドスタンド裏のトイレは利用できますが、トイレ脇の出入口は終日閉鎖です。そこからの出入りできません。
- サブグラウンドは液状化のため利用できません。サブグラウンド側駐車場・雨覆い練習場を利用してください。その際は、ケガのないよう注意して利用ください。正面駐車場での練習することは禁止する。
- 1日目が終了したら、各校のテント等は各校の判断で置いて帰ることも可能です。但し、風雨対策をしっかり行ってください。なお、盗難等については、新潟市陸上競技協会及び新潟市陸上競技場は責任を負いません。あくまでも各校の判断でお願いします。